

## 新交通体系と観光に関する調査特別委員会（第5回）

令和3年10月12日（火曜日）午前10時25分開会

---

### ○案件

1. 現地調査について
  2. その他
- 

### ○出席委員（9名）

委員長	横田 有 一	副委員長	川 上 弘 一
委員	池 田 誠 悦	委員	稲 垣 明 美
委員	畑 中 静 一	委員	長谷川 生 人
委員	澤 出 明 宏	委員	中 島 勝 也
委員	若 山 雅 行		

---

### ○欠席委員（0名）

---

### ○委員外議員（0名）

---

### ○出席説明員（3名）（情報提供2名・現地調査1名）

副 町 長	宮 田 東	総務部政策推進課長	中 村 雄 司
総務部長事務取扱			
経済部商工観光課長	福 川 晃 也		

午前10時25分 開会

○横田委員長 ただいまより、新交通体系と観光に関する調査特別委員会第5回目の会議を始めます。

はじめに、町理事者より情報提供があるということですので、副町長と政策推進課長が出席しております。

それでは、まず情報提供をお願いしたいと思います。

副町長。

○宮田副町長 おはようございます。

新交通体系と観光に関する調査特別委員会、この席の中で私ども政策推進課より情報提供を1点申し上げたいと思ってございます。貴重な時間を拝借させていただくことについて、お許しをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、政策推進課長より報告させていただきます。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 それでは、利用の少ない無人駅の見直しにつきまして情報提供させていただきます。

現在、JR北海道では厳しい経営状態の中、実施している様々なコスト削減の一環といたしまして、利用の少ない無人駅の見直しを行っており、七飯町内では、池田園駅、流山温泉駅及び銚子口駅の3駅がその対象となっております。

お配りしてございます資料中、下段のほうをご覧いただきたいと思いますが、1の(7)でございます。7月15日に開催の特別委員会におきまして、既に利用の少ない無人駅の見直しについて内容を御説明申し上げてございますが、その後の新しい情報については、アンダーラインをしてございます。(8)になりますが、本年9月13日にJR北海道代表取締役社長から七飯町長に対しまして、来春のダイヤ改正に合わせて3駅を廃止することを正式に文書で通知であったところをご報告申し上げるところでございます。

次に、2の今後の予定でございますけれども、(1)、明日開催を予定しております第4回七飯町地域公共交通活性化協議会、いわゆる法定協議

会におきまして、3駅に関します正式通知を受領したことを情報提供した後に、(2)になりますが、広報ななえ12月号で3駅の廃止について周知をしまいたいと考えているところでございます。

以降、(3)、(4)は以前情報提供させていただいている内容と変わっておりませんが、

(3)は、令和3年12月にJR北海道から3駅を含む駅の見直しをプレス発表し、(4)令和4年3月に令和4年のダイヤ改正に合わせて3駅が廃止されることとなる予定でございます。

また、ただ今申し上げましたとおり、現在はJR北海道の公式発表前でございますので、この資料の取り扱いにつきましては、ご注意くださいますようお願いいたします。

以上、情報提供でございます。

○横田委員長 ありがとうございます。

何か今の件について御質問ありますか。

澤出委員。

○澤出委員 廃止後なのですけれども、池田園とか駅舎があると思うのですけれども、駅舎なんかは解体されるのでしょうか。そういう情報ってありますか。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 駅舎等の解体でございます。まず、4月の時点でダイヤ改正になりますと、施設に入れないような形を、安全対策をとるとのことと、あと、具体的な施設、駅舎等の解体につきましては、速やかにというようなお話をされておりました。イメージ的には年内、令和4年の年内には、撤去といえますか、解体だとかというようなスケジュールをJR側は持っているというように聞いております。

以上です。

○横田委員長 澤出委員。

○澤出委員 住民からの意見ってその辺はちゃんと聞いてあるということですよ。そういう理解でいいのですよね。

例えば、何かそういうことってあんまりないかもしれないですけれども、幸福駅なんか残ったでしょう、廃止になったあとに。利活用とかが、そういう話というのは住民サイドから出なかった

ですかね。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 令和3年1月20日に地域の説明会等を開催してございますけれども、特段そこまで大きな意見というのはなかったというふうに認識してございますし、先日、9月の新聞報道等あったときも、そういった情報というのは一定程度地域の方々にも目に付くことはあったかと思いますが、特段、七飯町またJRのほうにそういった意見というのは、届いていないということを確認はしているところでございます。

以上です。

○横田委員長 いいですか。あとありませんか。  
中島委員。

○中島委員 おはようございます。

この書面の取扱注意と括弧ありますけれども、この意味についてちょっと伺います。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 今回、3駅につきまして廃止というようなことでございますが、実はJR北海道は、その3駅についてまだこの駅ということは公表しておりません。12月に公表に、プレス発表するという状態でございますので、七飯町のほうから3駅につきまして、名前を表示するというのはなかなかできにくいという現状でございますので、取扱注意というところで考えているところでございます。

以上です。

○横田委員長 あとありませんか。  
若山委員。

○若山委員 一番上のほうで町がJRに回答した文面の2つ目のところで、代替交通手段とか何とかそういう理想的な申入れをしているのですけれども。これに対してJRから正式に、そのあとに我々住民への説明会があったので、全く何も話がなかったのだけれども。これに対する正式なJRの回答というのですか、そういうようなものは文書とか何とかであるのでしょうか、あったのでしょうか。そこのところだけちょっと、大分前の話になりますけれども。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 代替交通についての町から

の要望についての回答ということでございますが、文書的には正式なものはございません。ただ、打合せの中で、そういった部分町のほうでもお願いをした経緯はございますが、現実のところ、交通事業者が別なバスを運行するだとか、そういった部分の代替を考えるようであれば、そもそもJR北海道が駅を廃止しないというような回答でございますので、そういった部分の回答を口頭でいただいているというような内容でございます。文書について、そういった部分は難しいだとかというような回答までは至っていないというところではございます。

以上です。

○横田委員長 若山委員。

○若山委員 それで、何と申すのですかね、情報提供は、色々な機会を捉えてやっていただいている、今日もそういう一つですけれども。実際、住民とか、関係ないところも含めて、議論というか、町として色々な人の話を積極的に聞いているというそういうヒアリングした実情とか、以前ここでも説明あったのは、100万から150万くらいの年間負担があるというような話で、そこまでは出せないという話だったのですけれども。そういうような議論を、もっと色々やったというか、何かそういう積極的にやったというのは、これでいくと、どこのあれになるのですかね。七飯町公共交通活性化協議会においても、情報提供しているだけですよ。それに対してどうだとか、こうでないかとか、そういう議論されているわけではないですよ。議論した実績というか、何かそういうのがもしあれば教えていただきたいし。やっていなければ、こんな早くから話があって、全然議論していないというのはちょっとどうなのかなという。今となってはもうこの流れでしょうがないのかなと思うのですけれども、そういう議論を何故やってこなかったのかなとそこのところはどうか考えますかね。

○横田委員長 政策推進課長。

○中村政策推進課長 JR北海道側からのそういった提案といいますか、情報提供があった中で、町といたしましても地域の方々が一番困るというような状況でございますので、そういった意

味では、地域の住民の最も近い町内会等と地域の説明会というよりも、実際に町内会長のご意見を伺ったというような経緯もございます。

また、駅を廃止するに当たりましては、まず主体としてはJR北海道というふうに考えてございますので、JR北海道が丁寧な説明を、地域に説明をするというのが基本的な考え方というふうに思っております。当時観光団体のところのほうに出向いていただいて、廃止をせざるを得ないというような説明をJR側からしたというようなところもございますし、町からも是非地域の理解を得てくださいというような内容でJR北海道が主体的な地域の説明ということを促してきたところでございます。

庁内の内部の検討といたしましては、町政策推進課のほうで、主体的に内部協議を進めた中で、進めたところでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上です。

**○横田委員長** よろしいですか。あとありませんか。よろしいですね。

それでは、副町長、政策推進課長ご苦労様でした。

それでは、これより現地調査に行きたいと思っております。行程表は、お手元に配布しております。

10時45分に正面玄関から公用車2台で出発いたします。ハイエースかエスティマに乗車していただきたいと思っております。

それでは、暫時休憩いたします。

午前10時37分 休憩

---

午後 3時00分 再開

**○横田委員長** 休憩以前に引き続き、再開します。

今日は、皆さんご苦労様でした。

今後の委員会の進め方ですけれど、いかがいたしますか。

例えば、今回こうやって今日3箇所やって、違うところを見るとかをするのか、それとも例えば今日の3箇所見てきた中で、色々なものが出てきたものについて、どうしていきたいのかというふうにするのかということだと思っておりますよ、考

え方としては。

その辺、何か皆さんのほうでお考え方がないかどうかということでお聞きしたいのですけれども。何かありますか。

なければ、正副と事務局で今後の進め方について協議し、その中身について皆さんのほうにご報告するという事によろしいですか。いいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

**○横田委員長** わかりました。そういう形で進めたいと思います。

それでは、新交通体系と観光に関する調査特別委員会第5回目の会議を閉会いたします。

ご苦労様でした。

午後 3時 2分 散会

